

KIRIN "KIZUNA" KUMAMOTO DAYORI

キリン 絆 熊本だより

2019.November Vol.10



「世界一の九州をつくろう。」
キリングループは、
熊本の食・旅・人を応援しています。



2019.10.4 記者発表
キリンビール株式会社 九州統括本部
南部九州支社長 安武 直幸（写真:左）

私たちキリングループでは、「世界一の九州をつくろう。」というスローガンのもと、九州・熊本の食・旅・人を応援する取り組みを続けています。熊本地震以降は「復興応援 キリン絆プロジェクト」熊本支援事業を展開し、地震からの創造的復興に向けた活動にも取り組んでいます。私たちは、地域に根差してこうした活動ができる自体を誇りに思い、我々の仕事のやりがいとして事業を展開しております。そうした中で、熊本城大天守外観復旧記念デザイン缶を発売させていただくことで、熊本の皆様とともに熊本城の復興を応援していくたいと思います。

キリンビール株式会社 九州統括本部 南部九州支社
熊本支店長 一ノ瀬 勝弘（写真:右）

キリンビールでは、2016年の熊本地震発生以来、「一番搾り 熊本づくり」の全国発売による寄付金など、創造的復興に向けたさまざまな取り組みを通じて熊本を応援してまいりました。これまで一番搾りを通じた寄付の合計は1億5771万円に上り、「復興応援 キリン絆プロジェクト」熊本支援事業として、多くの復興支援策に活用しています。熊本地震で甚大な被害を受けた熊本城は、築城400年の歴史を持つ重要な文化財であると同時に、熊本のシンボルといえる存在です。完全復旧に向けては、長い年月と多大な費用に加え、熊本の皆さんへの想いを結集した取り組みが必要だと思います。今回の大天守外観復旧記念「一番搾りよみがえれ熊本城」デザイン缶が、その一助になればとの思いで発売させていただきます。今回も売り上げ1本につき1円を、熊本城の災害復旧に活用します。また、同時に熊本県内での出荷される中びんも、1本につき1円を同様に活用します。さらに、11月22日・23日には「復興応援ビアガーデンin熊本城彩苑」を開催し、熊本城の復旧に向けた機運を盛り上げていきたいと思っています。



ここからこれから 2年目のクリスマス
CHRISTMAS MARKET KUMAMOTO 2019
優しいクリスマス村が熊本に出現!
12/5(木)~12/11(水) 花畑広場・シンボルプロムナード南側
クリスマスマーケット熊本 検索 <https://xmas-kumamoto.com>

1本につき1円を、熊本城の復興と中心市街地の活性化支援を行っており、その一環として「一番搾りよみがえれ熊本城」デザイン缶を発売し、商品の売り上げ1本につき1円を、熊本

当支店では、2016年の熊本地震発生以来、「復興応援 キリン絆プロジェクト」熊本支援事業を展開。地震からの創造的復興に向けた活動にも取り組んでいます。私たちは、地域に根差してこうした活動ができる自体を誇りに思い、我々の仕事のやりがいとして事業を展開しております。そうした中で、熊本城大天守外観復旧記念デザイン缶を発売させていただくことで、熊本の皆様とともに熊本城の復興を応援していくたいと思います。

社熊本支店は、熊本城の大天守外観復旧を記念し、「一番搾りよみがえれ熊本城」デザイン缶（350ml）を、11月19日（火）より九州・沖縄全域で発売します。販売数量は約11,000ケース（350ml換算）で、数量限定のため、商品がなくなり次第終了となります。

（350ml）を、11月19日（火）より九州・沖縄全域で発売します。販売数量は約11,000ケース（350ml換算）で、数量

限りのため、商品がなくなり次第終了となります。

（350ml）を、11月19日（火）より九州・沖縄全域で発売します。販売数量は約11,000ケース（350ml換算）

キリングループは、熊本地震の被災地の復興を応援しています。

2019
2/6

熊本市・キリングループ・日本財団 「熊本地震からの復興の加速と 未来への礎となる担い手の育成」 に関する連携協定に基づくプラットフォーム 「くまもと未来人材チャレンジステージ」開設！



くまもと未来人材チャレンジステージ

2019年4月スタート



「熊本城・城下町」「にぎわい・観光」「食・文化」の3つのテーマを連携の柱とし、3者が持つビジョン・資源・ノウハウなどを掛け合わせ、未来の熊本を担う若手人材の育成やネットワーク構築のためのプラットフォームとして、「くまもと未来人材チャレンジステージ」を開設しています。(2019年4月~)

1 くまコン(くまコンバレー プロジェクト)



STEP① 担い手の発掘とプロジェクト形成 (月1回)

※熊本市の復興に向けて、熊本を良くしようという事業アイデア(社会的な課題を解決していく起業アイデアなど)を持ったプレゼンターと応援したいサポーターとの共生プロジェクト形成の場を創出します。

2 くまスタ(くまもとスタートアップ プログラム)



STEP② 事業化支援 (1ターム半年、年2回)

※熊本市の復興に向けて、熊本を良くしようという事業アイデア(社会的な課題を解決していく起業アイデアなど)を持ったプロジェクトの事業化(起業・創業)支援プログラムを推進します。

この件についてのお問い合わせ先：事務局 (一社)フミダス 担当=濱本 TEL:096-284-1840

くまスタ(くまもとスタートアッププログラム)オープンセミナー&説明会開催(9/26)

キリングループと熊本市、日本財団との3者間で締結した「熊本地震からの復興の加速と未来への礎となる担い手の育成」に関する連携協定に基づくプラットフォーム「くまもと未来人材チャレンジステージ」。その事業の一つ、「くまスタ(くまもとスタートアッププログラム)」のオープンセミナー&説明会を、9月26日(木)に開催しました。「くまスタ」は、熊本市中心市街地をはじめとする地域の課題解決を仕事としたい方への、ビジョン設計から具体的な事業づくりまでを伴走支援するプログラムで、11月からスタートします。今回はそれに先立ち、非営利組織コンサルタントとして数多くのソーシャルビジネス支援に携わってきた合同会社喜代七代表の山元圭太氏を講師に招き、全国の事例などの紹介も交えながら、ソーシャルビジネスに求められることや、その意義について講演いただきました。

「くまスタ」の機運を高めるため3名を招いたパネルディスカッションが行われ(写真左から阿蘇さとう農園佐藤智香氏、Comodo arts project 坂口美由紀氏、みなみあそ観光局 久保堯之氏)、参加者はそれぞれの事業開始のきっかけや現状などに耳を傾けていました。



基調講演

ゲスト講師 合同会社 喜代七 代表 山元 圭太 氏



ソーシャルビジネスは、法人格の有無に関係なく、事業型NPO・NGOや社会的企業(社会的使命を強く帯びた株式会社)などに類型されます。現在、世界的潮流として、単なる利益追求だけではなく、社会性のあるビジネスでなければなりたくなっています。ソーシャルビジネスをやる・やらないではなく、「どうやって上手くやるか」を考える時代になってきています。参加者の皆さんには、やりたいビジネスを「エコノミック(経済)、ソーシャル(社会)、ライフ(生業)」の3つの視点で、どのようなバランスになっているか考えることで具体的に目指すものが見えてくることをお伝えしました。起業でもそうでなくても、始める前は不安を感じると思いますが、動きながら考えることが大切です。

パネルディスカッション

みなみあそ観光局 久保 堯之 氏

全国各地で地方や地域が衰退している中、南阿蘇のように住民が自らの意志でそこで生き、自己実現できる場所があれば、生き残っていくのではないかと考え、南阿蘇で仕事を始めることにしました。その中で私にできることは、阿蘇地域の重要な産業である「観光」のアップデートだと考え、みなみあそ観光局を立ち上げました。「頑張りが報われやすい地域をつくる」「地域の役に立つ観光産業をつくる」という2つを掲げて、観光だけでなく地域全体が良くなる仕組みづくりに取り組んでいます。



Topics

2019 7/29 「第一回 やまなみハイウェイゴミ拾いウォーク」を開催

2019 8/27 熊本県産牛肉消費拡大推進協議会主催の 「くまもとあか牛商談会」開催に協力

キリングループが、熊本地震の創造的復興に向けて「復興応援キリン絆プロジェクト」熊本支援事業で支援を行ってきた「やまなみハイウェイ観光連絡協議会」が、新たな取り組みとして、「第一回やまなみハイウェイゴミ拾いウォーク」を7月29日(月)に実施しました。

同協議会は、阿蘇地域から由布院までを結ぶ、通称「やまなみハイウェイ」に関係する13の観光地域(阿蘇・南小国・小国・産山・竹田・九重・由布など)が手を結び、地震で被害を受けたやまなみハイウェイ周辺を盛り上げるために活動を行っています。

当日は飯田高原ドライブインから長者原ビジターセンターまでの区間の半分ずつを、大分班と熊本班に分かれて清掃活動を実施。約2時間30分の清掃活動で、空き缶、ペットボトル、タバコの吸い殻、お菓子袋などのプラスチックゴミを回収しました。今後もこの活動は継続され、協議会メンバーの地域を巡回していく計画です。

やまなみハイウェイ観光連絡協議会 太田慎太郎 氏

協議会が発足してから2年半、やまなみハイウェイはどうあるべきかの話し合いを続けてきました。そこで、「皆と一緒にできることは何か?」という意見がありました。その一つが今回のゴミ拾いウォークです。もちろん、目的は清掃活動ですが、やまなみハイウェイを歩くという経験は、とても気持ちのいいものでした。やまなみハイウェイを軸に、これからも地域の枠を超えて皆で協同し、地域の祭りに参加するなどして、お互いの地域を知る活動を続けていきたいと思います。



熊本県産牛肉消費拡大推進協議会は、「復興応援 キリン絆プロジェクト」の支援を受け、一昨年から「くまもとあか牛」のブランド力を強化プロジェクトに取り組んでいます。

和牛には4つの品種があり、「くまもとあか牛」となる褐毛和種(あかげわいしゅ)もそのひとつです。阿蘇の草原での放牧に適した牛として改良が行われ、誕生した品種で丈夫な体と穏やかな性格が特徴。牧草をしっかり食べてのびのびと育っています。あか牛には和牛本来のおいしさがあるといわれています。赤身に凝縮された旨味、ほどよい脂身と甘さのおかげで、幅広い年齢の方に召し上がっていただける食べやすいお肉です。

昨年9月には、「くまもとあか牛」が県内の食品として初めて、地理的表示(GI)保護制度に登録されました。さらなる魅力発信に取り組むことを目指し、昨年に引き続き第2回目となる「くまもとあか牛商談会」を、熊本市中心市街地・下通の西部ガスショールーム「ヒナタ熊本」で実施しました。

試食会では、あか牛のモモ肉を使った「ローストビーフの和風ソース」と、リブロースを使ったステーキの2品が振舞われ、その後、個別相談会を実施。あか牛のランプ肉のステーキの試食と、クラフトビール専用ディスペンサー「タップ・マルシェ」導入のご提案を兼ねた3種類のクラフトビールの試飲も行なながら協議会との商談をおこない、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

